

# ソーシャルビジネス実行委員会

担当副理事長 石丸 和宏

委員長 名村 孝史

副委員長 大村 猛

## 《基本方針》

現在、少子高齢化の影響により、現経営者の高齢化と親族後継者や人材不足が原因で、スムーズな事業承継が出来ずに廃業に迫られる企業も多く、いかに事業を継続させるかが重要な課題となっています。事業承継による企業存続は、MAK 地域の持続可能な成長を考える上で非常に重要な社会問題であり、MAK・JC だけでなく地域全体として解決していく必要があります。

まずは、我々が MAK 地域の企業を存続に導くために、MAK・JC で培ってきた人脈や、ツール、行政のデータ等を分析することで、事業承継の企画を立案し、目的達成への道筋を作ります。そして、現在後継者を希望している企業をリストアップするために、事業戦略の企画・事業計画を具体的に策定することで、解決方法を明確化し、ソーシャルビジネス事業の全貌が見えてきます。さらに、社会問題解決に意欲を持つきっかけを作るために、各種団体と企業へソーシャルビジネス実施に向けた事業発表会を開催することで、ソーシャルビジネスへの理解と必要性に気付いて頂きます。また、事業継続を希望する企業と経営希望者をマッチングさせるために、ソーシャルビジネスを実施することにより、事業承継を考える企業に新たな道を作り、開業希望者にも新たな方向性を生み出す仕組みを作ります。

当委員会の事業がきっかけとなり、社会問題解決に意欲を持った同志が増え、MAK 地域に新たな価値を生み出し、笑顔と活気で溢れる地域を作るとともに、地域企業の素晴らしい技術や雇用を継続し、地域の伝統や文化を守り抜き、持続可能な社会を築くことを実現します。

## 《運営方針》

1. 行政や他団体のデータ等を分析して、後継者不足の現状を把握する委員会を開催します。
2. 企画、計画を具体的に策定する委員会を開催します。
3. ソーシャルビジネスの重要性を共感できる、実施に向けた事業発表会を開催します。
4. 地域に新たな価値を生み出すソーシャルビジネスを実施します。

## 《事業計画》

1. ソーシャルビジネスに向けた事業環境の分析把握（通年）
2. ソーシャルビジネスに向けた事業戦略の企画・事業計画の策定（通年）
3. ソーシャルビジネスの実施に向けた、事業発表会の開催（4 月度事業）
4. ソーシャルビジネスの実施（6 月度事業）

## 《事業予算》

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1. 4 月度事業 | 200,000 円   |
| 2. 6 月度事業 | 1,200,000 円 |

---

合 計

1,400,000 円